



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

No.15

R7.6.3

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～

〔児童数〕 295名

学校教育目標：認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成 深まる緑、充実した学校生活に向けて

青空に新緑が映える、さわやかな季節を迎えています。まもなく訪れる「梅雨」には、長梅雨、走り梅雨、迎え梅雨、送り梅雨、戻り梅雨といった時期を表わす言葉が数多くあるように、「梅雨」は私たちの生活に密着し、日本の四季の美しさを感じさせる季節ともいえます。先日の運動会では、保護者の皆様には様々な面でご協力いただきました。児童にとって充実した行事となり、当日やその後の生活においても、一回り成長した姿を窺うことができました。

今年度がスタートして2か月、夏休みまでを一区切りととらえると折り返しとなります。これまでの成長をもとに、さらに充実した学校生活につながるよう、全職員一丸となって取り組んでいきます。

あふれる笑顔 ～桜学園あいさつ運動～

2日（月）朝、桜学園あいさつ運動が行われました。本校を卒業した桜中生、本校サポーターズの皆様、そして、いつも児童の登下校を見守っていただいている見守り隊の皆様など、多くの皆様にお集まりいただきました。栄小の子供たちは、いつも以上に元気にあいさつをしたり、恥ずかしそうにあいさつしたりと、反応は様々でしたが、その場にはたくさんの笑顔が生まれていました。笑顔や元気を生み出すあいさつの輪をこれからも広げていきたいです。



地域の声・地域の力 ～民生委員訪問～

3日（火）、栄小地区民生委員の皆さんが来校されました。まず2校時には、全学級の授業を参観いただきました。その後の懇談では、授業での子供たちの様子や地域の現状や課題について、忌憚のないご意見をいただきました。今後職員で共有しながら、よりよい学校づくりに役立てていきます。

学校はもちろん、社会は今、多様化の時代を迎えています。対話を通して、様々な考え一つ一つを互いに尊重し合いながら、いかに共通項を見つけ、共に歩んでいけるかが、これからの学校や地域社会に必要なことと捉えています。地域に支えられる学校として、地域の声、地域の力をこれからもよろしく願いいたします。

